



## 霜出小学校PTA森林活動報告書

SARUYAMA DAYORI

# サル山だより

第4号

令和2年3月1日発行

## 学校林「サル山」を利用した森林活動

**霜出**小学校区は、南九州市知覧町のほぼ中央に位置します。学校の規模は、令和元年度は児童数77名、教職員15名、PTA戸数56戸。保護者の8割は会社員等で、専業農家が少ないという特徴があります。

**学校林**は、学校から約5km離れた猿山(標高216m)の北側斜面にあり広さは約2.4haです。

**サル山**には、森林学習や木工体験の活動拠点として、5×8mのウッドデッキがあります。ここから、山並みや南薩縦貫道「金山水車インター」を見下ろすことができます。木陰にあるので、気持ちのいい空間です。

**家族で**出かけて、お弁当を食べたり森林浴を楽しんだりする場として、ぜひご利用ください。デッキの周りに設置した巣箱からは、小鳥のさえずりが聞こえてくるかもしれません。

**森**の観察ゾーンには、クリやドングリ、クヌギなどを植樹しています。動植物あふれる豊かな森に、みんなで育てていきましょう！



樹木医に学ぶ「シンボルツリーけやきについて学ぼう」(令和2年1月11日)

### これまでのあゆみ

霜出小学校PTAは、学校林サル山を利用した森林活動を続けています。この学校林は、これまで歴代の保護者らの手で管理されてきました。

5年ほど前から、木の伐採・売却、植樹を行い、ウッドデッキ作りなどをし、思いを受け継いできました。また、定期的に刈払機で下草刈りをし整備して、学習や体験活動の場として活用しています。

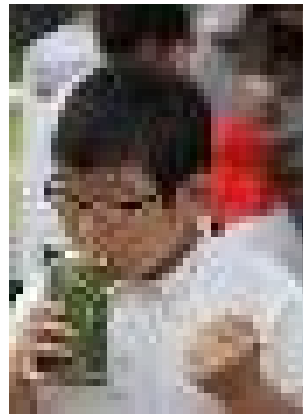
今年度も引き続き、サル山を利用した活動を行いましたので報告します。



霜出PTA会長 県P連委囀公開でサル山の活動を発表(令和元年12月7日)

## 手作りソーメン流し<子ども会活動> (7月13日)

水泳学習発表会の後半、なにやらお父さん方がけやきの周りで悪戦苦闘しています。手作りソーメン流しの完成です。器も竹を切って作ります。初めての、のこぎり体験に、ドキドキ。手を添えてもらって切ることができました。食べる時けがをしないよう紙やすりもかけて準備OK。そうめんだけでなく、くじ引きのボールやミニトマトも流れました。3年生の感想です。「トマトがゆっくり転がってきたけど、とれません。だから、はしで刺しました。流しそうめんをおなかいっぱい食べました。」楽しい体験活動でした。



## 3・4・5年生 自然体験<秋の一日遠足> (10月4日)

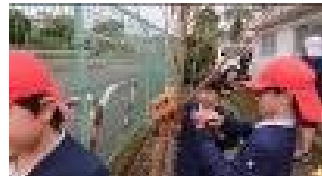
3・4・5年生は、秋の一日遠足で自然体験を行いました。講師の先生を迎え、ネイチャーゲームを楽しみました。山の自然の空気を胸いっぱい吸って木々の葉が風に揺れる音を聞いたり、樹液を触ったり、芝に寝転がったり、たくさん自然に親しむことができました。

ゲームを通して、自然のあたたかさ・大切さを学びました。



## 学校の樹木に名札をつけよう（1月11日）、図鑑で調べよう（2月4日）

じゅもくい せんせい まね こうてい きぎ  
 樹木医の先生をお招きし、校庭の木々について学びました。けやきは、約100才ということが分かりました。また、樹木に関する図鑑や書籍を購入。校庭の樹木にネームをつけました。図鑑と木肌や葉を照らし合わせて名前を調べ、メジャーで幹の周りを計りました。



## けやきの葉を利用しよう・堆肥作り（3学期）

こうてい らくようこうぼく な き ゆらい  
 校庭にあるシンボルツリー「けやき」は、落葉高木です。「けやき」の名は「けやけき木」が由来だそう。「けやけき」には「目立つ、ひときわすぐれている」という意味があります。春の芽吹きからはじまり、夏の緑陰、秋の黄葉、冬の木立と、四季を通じて美しい木です。今年も落ち葉がたくさん。例年なら、集めて捨てていたこの落ち葉。今年は、堆肥にしようとして校長先生が発案。環境委員会が大活躍。保護者の大工さんの協力を頂きプール裏に堆肥作成小屋を設置。堆肥作りに奮闘中です。全校児童で掃除をして、落ち葉を袋へ。環境委員会の調べによると、なんと集まった袋は85袋以上。重さにして約470kgもありました。



## 冬の山、サル山大発見（1月31日）

ねんせい せいかつか きせつ かん  
 1年生は生活科で季節を感じる学習をしています。この日は、冬のサル山探検に出かけました。どんぐりを拾い、がけを登り、サル山を満喫しました。



## 木工体験（2月）

6年生が木工体験を行いました。オルゴール木箱の彫刻やプランター作りを卒業制作として、完成させました。オルゴールは、校歌のフレーズが流れます。霜出小で学んだ記念になることでしょう。



### まとめ

サル山に関連した学びや体験を通して、自然の大切さや森林の役割を学びました。木々が成長していくのと同じように、子どもたちも社会に根をはり枝葉を広げていって欲しいと願っています。



## 記念植樹（2月21日）

6年生が、記念植樹として学校に八重桜を3本、サル山にあすなろの苗を1本植えました。あすなろはヒノキ科で、「檜のように明日なろう」と意思をもっているとされています。檜になりたいと成長しているイメージの木です。井上靖の「あすなろ物語」にもあります。“人は自分の考え方により、たえず成長していく。その成長期に自分をただの木にしてしまおうか、翌檜にするか、また、檜にするかは自分自身なのである。”

未来に希望をもち、たゆまぬ努力を続ける霜出小の子どもたちになってほしいと期待を込めて。



## サル山だより 第4号

発行日 令和2年3月1日

発行者 霜出小学校PTA 事業整備部

〒897-0306 南九州市知覧町西元5656番地  
TEL0993-84-0622/FAX0993-83-2875

採択事業：森林環境税関係事業「森林の体験活動支援事業」南九州市耕地林務課・南薩地域振興局・かごしま森林組合など関係機関にご協力をいただきました。感謝申し上げます。